

MOVE

Momoyama
Volunteer
Express

No.46
2023.5.1

<ボランティア活動支援室より>

2004年10月4日に前身のボランティアビューローの開所式を行ってから、桃山学院大学のボランティア活動支援はもうすぐ20年を迎えます。組織として20年と言えば、長い年月が過ぎたようにも感じられますが、人間であれば、まだまだ、成長する伸び盛りの世代です。新型コロナウイルス感染症の対策も新しいフェーズに入り、桃大ボランティア活動支援室も若々しく、活発に取り組んでいきたいと思ひます。



『桃山学院大学×桃山学院教育大学』



TRCシティプラザ図書館(和泉市)で開催している「よみきかせ隊」。
児童文化研究会オズ(桃大)と森の図書館(桃教大)の学生が子ども向けのイベントを行っています。
2022年度は、計4回実施した「よみきかせ隊」の活動について話を聞きました!

Q. どのような活動をしていますか?

A. TRCシティプラザ図書館で、絵本の読み聞かせや手遊びなどを中心としたイベントを児童文化研究会オズと森の図書館の学生が共同開催しています。

2つの団体が合同で活動することは相乗効果となっていて、お互いの良い部分を引き出したり、刺激を受けたり、自分たちの足りない部分に気づいたりする機会にもなっています。

森の図書館・赤井 涼馬さん(桃山学院教育大学 4年次)



Q. 活動の魅力は?

A. 子どもたちが喜ぶ笑顔や集中している姿を見られることです。

私達の読み聞かせや手遊びに真剣なまなざしで応えてくれる子どもたちから、いつも力をもらっています。

児童文化研究会オズ・飯塚 光さん(桃山学院大学 3年次)

Q. 今後の目標は?

A. 今まで継続している活動だけでなく、新しいことにも挑戦したいと思っています。

子どもたちが笑顔になってくれたり、嬉しい言葉を貰ったりする時など、やっていて良かったと思うので、より楽しんでもらえるような企画をメンバーと一緒に考えています。

森の図書館・藤原 瑞穂さん(桃山学院教育大学 3年次)



Q. 活動を通して気づいたことは?

A. 子どもたちを対象とした「よみきかせ隊」ですが、私達学生と子どもだけでなく、保護者の方や図書館の方など様々な人との関わりの中で、このイベントを実施していると感じます。

良いパフォーマンスをしたときは、「良かったよ、がんばれ」と声をかけていただけますし、人とのコミュニケーションを通じて学ぶこと、気づくことがたくさんあります。

児童文化研究会オズ・徳山 主浩さん(桃山学院大学 4年次)



スマホ教室 × 多世代交流ボランティア



高齢者の方がスマートフォンの不安や困りごとを相談できるスマホ教室。スマホを通じた多世代間の交流は、地域交流の促進や地域の活性化に繋がることも期待されています。そんなスマホ教室で活躍する学生をご紹介します。

防犯ボランティアサークル「桃パト」×緑ヶ丘自治会館

サークルとして初めての試みだったため、学内に相談して他大学のスマホ教室を見学させていただいたり、自治会館の方とも話し合う中で、私達のやり方を見つけていきました。

当日苦勞したことは、私達がいつも何気なく行っているスマホの操作を言葉で説明することです。普段使っているスマホ用語なども通じませんので、言葉を置き換えながら伝えました。

多くの方から「次回も開催して欲しい」と言っていたことがとても嬉しく、初めてながら頑張っており組んだので、次回も開催できよう頑張ろうと思えました。

私達桃パトは、地域の安全を守る活動を行っているので、地域の方々から喜んでいただけることが魅力です。

是非私達と一緒に様々な活動を行ってみませんか？

桃パト 代表
堀 瑞季さん(法学部 4年次)



桃パト 副代表
西田 絢華さん(法学部 4年次)

普段行っている小学生の下校見守り以外にも活動がしたいと考えていたところ、自治会会長の方にスマホ教室を開いてほしいと依頼をいただき、開催することになりました。

スマホ教室に来てくださった方の中には、わからないことを説明するのに苦戦する方がおられ、そのような方の悩みを聞きだすことが難しかったです。

しかし、何が分からないのかを一緒に考えて解決できたとき、「助かった、ありがとう」と言っていただけでした。

スマホ教室は、私にとってやりがいを感じることができる活動であり、地域の方々にとっては悩みを解決できる上、たくさんの人と会話をする場にもなっていたように感じました。今後もこの活動が定期的に続くことを願っています。

堺市社会福祉協議会 南区事務所 スマホ相談会



植田 晴加さん
(社会学部 4年次)

堺市社会福祉協議会の方と近隣大学の学生が企画・開催を進めるスマホ相談会に学生メンバーとして参加しました。

何度も話し合いをする中で、ただ高齢者の方にスマホの操作を教えるだけではなく、同時に雑談や交流を楽しめることを意識して、一つ一つ開催方法を決めていき、実現しました。

最初は自分の伝え方で大丈夫かと不安もありましたが、一緒に問題を解決でき、喜んでもらったことがとても嬉しかったです。

ボランティアは楽しかったり達成感があったりする活動なので、自分にもできることがあるということを知ってもらいたいし、たくさんの方に参加してもらいたいと思います。

さかいソーシャルデザインセンターからのご案内

2回生以上も もちろんウェルカム! /
ガイガクはいつたさ
ソーシャルデザインでしょ!!

そまそまソーシャルデザインって?

ボランティア活動を通じて「あったらいいな」と思う未来や社会を多彩なアイデアやアクションでつくりだす活動です。
また、それと同時にみなさんの日々の生活や学生生活をより充実したものにする活動を指します。

春(4-5月)と秋(9-10月)には
とっておきの「キャリアプログラム」を実施予定!!



はじめまして!
さかいソーシャルデザインセンターです。

私たちは、大学生にボランティア活動の魅力を伝え、また活動への参加をサポートすることを目的に、2021年4月にスタートした団体です。

堺市内および堺市近隣にある8つの大学から集まった大学生が主体となって運営しているオンラインセンターであり、みなさんと同じ大学生という立場・目線からよりよいサポートの実現に向け活動しています。

毎年、春(4-5月)と秋(9-10月)を中心に、説明会や体験プログラム、公式学生スタッフである学生コーディネーターの募集など、様々な企画を実施します。気軽にご参加いただくと嬉しいです。

またソーシャルデザインに関する相談は日々受け付けています。詳細はWEBページ(右上のQRコード)よりご覧ください。